

社会医療法人 医翔会

札幌白石記念病院

頭から足の先までの動脈硬化病変に積極的に対応 血管内治療など、患者負担の少ない低侵襲治療に尽力



「いのちと向き合う。こころと向き合う」をモットーに、脳卒中・心筋梗塞・全身の血管病の検査から治療、看護、リハビリ(退院後の通所・訪問リハビリを含む)まで多様なスタッフが連携しながら、さらなるチーム医療の充実を目指している。画像左手が新たにオープンした増築棟

脳と全身の循環器系の横断的な診療体制の確立に取り組み札幌白石記念病院。宮田節也院長は「高齢化の進展とともに動脈硬化性疾患が増え、脳卒中と心臓病の合併率が高まり、当院のデータでは脳卒中の患者さんの約7割に心臓病が見つかっています」と説明する。「そのため、当院では『ブレイン・ハート・カンファレンス』と呼ばれる全科合同の症例検討会を毎朝開催し、二人ひとり

の患者さんに対して、脳と心臓の両面からのアプローチ、治療を重視しています。また、脳梗塞や心疾患の合併症で人工透析が必要な患者が増加していることから20年1月より新たに透析治療を開始している。

脳神経外科領域の病気に対しては、開頭することなく、手や足から挿入したカテーテルを脳血管まで誘導して治療する血管内手術に力を注いできた。野中雅理事長は「適用できれば患者さんの負担を大きく軽減できます。当院では、脳梗塞に対する『血栓回収術』、くも膜下出血に対する『コイル塞栓術』を積極的にこなっています」と話す。また、脳梗塞急性期の治療で有効な「tPA治療」にも尽力。tPA治療とは血栓を溶かす薬剤で、脳梗塞発症後4.5時間以内であれば、血管を詰まらせた血栓を溶かし、血流を再開させる効果が期待できる治療法だ。「いつも患者さんが搬送されても即座に治療準備に入る体制を構築しています。急性期脳梗塞の血管の再開通は時間が短いほど予後は良好のため、今後も迅速化に努めていく方針です」(野中理事長)。21年1月より新たな診療科として「脳神経内科」を標榜しさらなる体制強化を図った。

心臓血管外科では、角野聡副院長を中心に、心大血管手術のほか下肢静脈瘤のレーザー治療など心力を入れている。循環器内科では心筋梗塞・狭心症、心不全・不整脈などの心疾患に



毎朝開かれる「ブレイン・ハート・カンファレンス」。脳神経外科・脳神経内科・心臓血管外科・循環器内科を中心に、全診療科の医師・スタッフが集まり、内科・外科の両面からシームレスに症例を検討する



2020年3月に導入した全身血管撮影装置。複雑な血管の位置や状態を正確に立体的に把握できる。脳・心臓大血管の検査や血管内治療に威力を発揮する



理事長 野中 雅

札幌医科大学卒業。市立釧路総合病院脳神経外科部長、札幌医大脳神経外科准教授などを経て、2009年4月に札幌白石記念病院の前身である白石脳神経外科病院に勤務(副院長・脳血管内治療センター長)。12年4月に院長、14年7月に理事長に就任。日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医。日本脳神経血管内治療学会認定脳血管内治療専門医・指導医



院長 宮田 節也

旭川医科大学卒業。国立札幌病院、米国コロラド大学ボルダー校、アルバートアインシュタイン医科大学、岩手医科大学、社会保険中央病院、札幌整形循環器病院副院長を経て、2013年4月に札幌白石記念病院副院長に就任。19年10月より現職。日本循環器学会認定循環器専門医。日本内科学会認定総合内科専門医。医学博士。経営学修士(MBA)

INFORMATION

所在地 札幌市白石区本通8丁目南1-10 ☎011-863-5151
 診療科目 脳神経外科、脳神経内科、心臓血管外科、循環器内科、リハビリテーション科、麻酔科(長堀か女子医師)、腎臓内科(人工透析)
 診療時間 月～金 9:00～12:00
 13:00～17:00
 土 9:00～12:00
 休診日 日、祝日 駐車場有
 アクセス 中央バス・JRバス「本通8丁目」
 停下車徒歩約3分、地下鉄東西線「南郷7丁目駅」3番出口から徒歩約10分
 理事長 野中 雅
 院長 宮田 節也
 H P <https://www.ssn-hp.jp/cms/>

